

◆郷土を興す農業者 ◆ 日本を伸ばす農業者 ◆ 世界を拓く農業者

## contents

ご挨拶	1
コロナ禍を越えて	2
アセアン研修生 到着時研修	3
研修生からの便り	4
次世代の担い手育成に向けた 新たな取り組み	5
故塩飽二郎氏を偲ぶ	6
協会の動き	7
協会の行事	8



ニューファーマーズ 249号から、オンライン配信になりました。  
本会ホームページに掲載するほか、Email で配信します。

ニューファーマーズ No.249 |  
2021年(令和3年)1月(年2回1月、7月発行)  
ホームページ: <https://www.jaec.org>  
フェイスブック: <https://www.facebook.com/jaec.trainee>



編集・発行 / 公益社団法人国際農業者交流協会  
〒144-0051 東京都大田区西蒲田 5-27-14 日研アラインビル 8階  
TEL : 03-5703-0251 (総務部) 03-5703-0252 (派遣業務課)  
03-5703-0253 (活動支援課) 03-5703-0254 (受入業務課)  
FAX : 03-5703-0255

## ポストコロナ への期待

会長 野中 和雄



明けましておめでとうございます。コロナ禍の中  
ではありますが、皆様ご無事で新年をお迎えのことと  
お慶び申し上げます。

昨年、本来ならばオリンピック・パラリンピッ  
クも開催され、令和新時代の幕開けとなる年でしたが、  
新型コロナウイルスのパンデミックで、世界中が思い  
もかけない苦難の年になりました。ご家族の方を含め  
皆様のご無事でいらっしゃるよう心からお祈りいたし  
ます。また仕事面で影響を受けられている方々には心  
からお見舞い申し上げます。

協会の事業も、派遣事業、受入事業とも中止や大幅  
な縮小を余儀なくされました。特に、昨年3月に米国、  
オーストラリア、オランダに渡航予定であった研修生  
の皆さんには、せっかく大きな夢を抱いて参加を決め  
ていただいたのに、大幅な延期となってしまう申し訳  
なく思っています。また未来の畜産女子育成プロジェ  
クトへの応募を楽しみにしていた高校生の皆様にも申  
し訳なく思っています。さらに、アセアン及びドイツから  
の農業研修生やフィリピンからの技能実習生の受入れ  
についても、中止や大幅な遅れで受入農家の皆様に多  
大なご迷惑をおかけしたことをお詫び申し上げます。

こうした事業の中止や縮小により協会の財政状況  
も大変厳しくなり、今年度は大幅な赤字決算となる見

込みです。このため、協会としてできる限りの経費削  
減に努めるほか、政府のコロナ関係施策を最大限活用  
して給付金等を申請したり、低利融資を受けたりして、  
懸命なやり繰りをしています。この間、研修生 OB・  
OG の組織である国際農友会から種々ご支援をいただ  
くとともに、個々の会員の大勢の方から多額のご寄付  
をいただきましたことは、誠にありがたく、心から厚  
く御礼申し上げます。コロナの感染拡大が続けば協会  
の事業運営も昨年以上に厳しくなることが予想されま  
すが、今後ともご協力ご支援いただきますようお願い  
申し上げます。

さて、今回のコロナ禍では、わが国のさまざまな  
弱点も明らかになりましたが、そうした中で食料自給  
を担う国内農業の重要性も改めて認識されています。  
大都会から地方への移住希望者も増えています。多く  
の識者が指摘するように安全安心や人間らしい生き方  
を重視する価値観の変化が起きており、その意味で社  
会的共通資本としての農村の再認識も一層進むように  
思います。海外農業研修についても、「国際競争力ある  
農業人材の育成に向けた議員連盟」や国際農友会の  
皆様のご尽力で、農林水産省の来年度予算案に支援措  
置が盛り込まれましたので、今後より多くの若者に海  
外農業留学を経験していただけるものと期待していま  
す。ポストコロナ時代には、これまでとはまた違った  
農業農村の時代が開けてくるように思います。コロナ  
危機を断固克服し、国際感覚にも優れた若い農業者が  
ますます活躍する時代を切り拓いていこうではありませんか。  
皆様のご健勝をお祈りしつつ一層のご活躍を  
期待致します。



## コロナ禍を越えて

JAECは、世界各国の海外農業研修プログラムを実施する組織が構成する Grow Abroad World Alliance（連盟）のメンバーです。これは、航空業界の One World、Star Alliance、Sky Team などのようなものと言えますが、研修事業の基準を定めたり、各国のプログラム実施状況を共有し、よりよいプログラム運営を目指しています。本会は、2004年から加盟しており、年に一度の国際会議に出席していますが、今年南アフリカで開催予定だった会議は新型コロナの影響により中止となりました。

先日、連盟のニュースレターが発行され、各国の近況が報告されました。それぞれ自国から他国への研修生を派遣するプログラムと、他国から自国に研修生を受け入れるプログラムを実施していますが、今年はどの組織も、極端に研修生が減ってしまったことがうかがえました。しかし、なんとかプログラムを継続しようと試みていることが報告されていました。様々な工夫の中で、テレワーク、テレコミュニケーションが重要な役割を果たしています。時代の変遷とともにコミュニケーションツールが変わってきました。手紙が電話に、電話がメールに、メールがSNSに。コロナ禍においてオンライン会議アプリが普及しました。対面で会えないからこそ丁寧に、お互いを気遣い、励まし合う工夫をしていることが分かりました。

秋に実施予定であった海外農業研修生の事前講

習は、3密を避ける意味もあり中止となりましたが、代わりに10月より週に一度のペースでオンラインセミナーを実施しています。事業の説明、研修生の心構え、配属インタビュー、語学アドバイスに加え、11月、12月は、渡航に向けて良いモチベーションを維持できるよう、海外農業研修に参加された先輩から海外農業研修成功に向けたアドバイスを頂いています。また、現地コーディネーターとの面談も実施することができました。アメリカコースはBBCCのCarla Louiseさんと、オーストラリアコースはBGGGAのJuliaさんと緊張しつつも楽しいカンバセーションを経験しました。直接会うことは確かに尊いことです。しかし、コロナ禍であっても国境を越えて会える人がいることも分かりました。

海外農業研修担当チームは、研修生の渡航に向けてメールや電話や、Zoomを使って各受入機関と頻りに連絡を取り合っています。パソコン越しではありますが“しっかりつながっていること”を感じています。

オリンピック開催に向けリメイクされた東京五輪音頭の歌詞のように♪オリンピックの顔と顔♪には未だ至っていませんが、「研修生が来るのを楽しみに農家が待っている。そして、私も研修生が来るのを待っている。」と各国のパートナーたちに鼓舞されながら、令和2年度研修生の渡航準備を進めています。

## 令和2年度アジア農業青年人材育成事業 アセアン研修生 到着時研修

サワディーカップ、アセアンを担当しています、国際農業者交流協会の久保寺です。

今年は新型コロナウイルスの影響により、日本よりも感染者が少ないタイのみが来日することができました。例年より遅れること半年、10月21日に男性8名、女性4名の計12名が来日しました。入国後2週間は隔離が必要であるため、隔離をしながら基礎研修を実施しましたので、その時の様子をお伝えしたいと思います。

研修生達は空港での抗体検査を終えて、チャーターバスで東京都にあるホテルへ向かいました。到着後、すぐに検温とアルコール消毒をして各部屋（一人一部屋）に入りました。

今年は研修生達に配布している資料等に加え、研修生一人一人にパソコンを貸与しました。基礎研修は日本語講習や農業講義をメインに行いますが、隔離中で対面式の授業ができないため、オンライン授業を行うにあたり、インターネット環境が欠かせないものになります。初日のオリエンテーション時に接続テストを行ったところ、一斉に繋ぐとネット回線が混み合い、繋がらないというトラブルが発生しました。初めてなので、思い通りには



オンラインでの朝食タイム



各部屋の前にお弁当が配膳

いかないものですね。テスト段階で本当に良かったです。

授業を担当してくださる先生方も初めてのオンライン授業となり心配をしていましたが、トラブルもなく無事に終わることができました。

食事では感染防止対策として授業のように全員が前を向いて食べていたのですが、全く会話がなく、食事中も緊張感が漂っていました。せめて、お互いの顔が見えたほうがいいと思い、口の字型に変更したところ、少し和やかな雰囲気になりました。

来日して1週間が経った頃、環境の変化と疲れが出たようで、熱を出してしまった研修生がいました。コロナかもしれないという不安を抱きつつ病院で診てもらったところ、普通の風邪で、ある意味ひと安心しました。体調不良者が出たことにより、他の研修生に風邪がうつらないように食事も完全個室になり、アプリを使ってみんなの顔を見ながら食事をすることにしました。やはり、このご時世、対面は気を遣うので、オンライン上の方が気兼ねなく会話ができるようでした。

配属前日はタイ大使館の方が研修生を激励しに来てくださいました。研修生は緊張した様子でしたが、11月4日、全員無事に配属されました。日本語がまだまだな彼らですが、たくさん学んで、色々なことを吸収して成長した姿を見るのが楽しみです。



農業講義の様子



食事の様子



## 研修生からの便り

### かけがえのないオランダでの日々

2019年度オランダ研修生 酪農専攻 仲谷 百々花

皆さん、オランダと言われてどのようなイメージをお持ちでしょうか？"チューリップ"、"風車"、"木靴"など様々なイメージをお持ちだと思います。さて、そんな素敵なオランダでの研修は本当に素敵なものなのでしょうか？今回はオランダで実際に私が体験した内容を話していこうと思います。

今、私がオランダに来て2か月が経過しました。現在はアムステルダムから南へ50kmのKaasboerderij Noorderlichtという農場で、牛の世話やチーズ製造を行っています。日本の一般的な農場と比較すると規模が比較にならないほど大きく、人口よりも牛のほうが多いこの町でのんびりと酪農について学ばせて頂いています。

この農場の特徴としては「バイオダイナミック農法」を行っている点です。日本だとあまり馴染みのない

この農法ですが、簡単に説明すると「有機農法の一つで、天体の力を使い、動物との共生を図りながら、自然の力を最大限に引き出す」という循環(サステナビリティ)農法です。私が初めこの農法を聞いたとき、宗教的で非科学的な農法だと感じ、正直全然信じていませんでした。しかし、実際にオランダに来て、この農法を行っている農家の方にお話を伺うと、皆さん本当にいいものを生産しており、心に余裕を持ち、楽しそうに仕事をしていました。農家の方にとって、いいものを生産し、日々充実した生活を送ることができる、それ以外に何か望むものはあるのでしょうか？最初は少しこの農法を疑っていた私ですが、現在では素晴らしい農法だと思っています。

最後に、この2か月をオランダで過ごしてみて、実際に感じたことについて話したいと思います。海外に

来る前、不安と期待で一杯で、海外に行くことが本当にキラキラ輝いたものを感じていました。しかし、実際に海外に行くと言語は通じない、文化は違うなど思い描いていた海外生活とは程遠い現実が待っていました。その一方、自分を助けてくれるたくさんの人がいて、多くの学び・経験などたくさんのかけがえのないものを手に入れることができています。日本にいた時は日々の生活に追われて考えることの出来なかったことについて考えたり、自分の大切なものについて再確認出来たりと、日本にいと出来なかったであろう多くのことを経験しています。残り少ないオランダでの日々ですが、多くのことを学んで、日本に帰国した時には、以前とは違う私を一番に家族に見せたいと思います。





# 次世代の担い手育成に向けた 新たな取り組み

JAECは、多くの若者を海外農業研修へ派遣することで次世代の農業を担う人財を育成してきました。また、全国各地で活躍するOB・OGの協力の下で、地区ごとの国際化対応営農研究会を開催し、知見の共有や啓発活動にも尽力しています。しかしながら、このような活動を行う傍ら、農村の高齢化と後継者不足、そしてそもそも就農を志す若者の減少という昨今の日本農業の課題は一朝一夕に解決できるものではないことを常に感じています。

この度、令和2年度農林水産省予算事業の一つである「若者の就農意欲喚起の取組への支援」を受けて、持続可能な次世代の農業の実現に向け、OB・OGの一層の連携強化や、農業高校生・大学校生などの若者に海外農業研修、ひいては就農へ興味関心を抱いてもらうため、以下の2つのプロジェクトを実施します。

## 1 アグリフォーラム 2021 の開催

「国際化対応営農研究会」の関東甲信静越ブロック大会へ広く若者の参加を募り、規模をより拡大した「アグリフォーラム 2021」として開催します。参加する若者が海外農業研修を通じた国際的な農業の舞台へ興味・関心を抱けるようヨーロッパにて研修中の研修生へのオンラインインタビューを行うほか、これまで海外農業研修に参加したOB・OGとの交流の場を設けることに加え、知見・経験豊かな専門家の講演を通して次世代農業への取り組みを共に考えます。皆様のご参加をお待ちしています！

### 【開催概要】

日時：2021年2月12日（金）

午後1時30分～午後7時

場所：JA 東京第1ビル 2階 会議室

〒190-0023 東京都立川市柴崎町 3-5-25

JA 東京第1ビル 2階

講師：見城 美枝子氏（青森大学副学長）

田中 進氏（株式会社サラダボウル 代表取締役）

遠藤 修氏（JA 東京中央会 都市農業支援部長）

※YouTube LIVEによるオンライン視聴もできます！

## 2 情報交流サイト New Farmers.jp の開設

海外農業研修に参加を希望する若者が生きた情報を手にすることができる専門ホームページを立ち上げます。サイト内では海外農業研修実施国の情報や研修参加者の体験談を届ける動画やラジオ番組のアーカイブを聞くことができるほか、活躍中のOB・OGの紹介などを通して農業の魅力を若者へ発信、広く繋がることのできるプラットフォームを目指します。また、将来的には研修OB・OGの生産物のオンライン販売等のコンテンツを拡充していく予定ですので、ぜひチェックしてみてください。

URL：<https://newfarmers.jp/>





# 故 塩飽二郎氏 を偲ぶ



令和2年8月30日、塩飽二郎さんが87歳でご逝去されました。農水官僚の中でも特に卓越した英語力をもって活躍され、事務方重要ポストを歴任した後、平成2年に農林水産審議官に就任、平成6年退官したのち、平成9年から本会の理事長として就任されました。そして、農政に知悉した鋭い観察眼をもって農業青年の育成事業の在り方に関して正鵠を射た考えをご指南頂きました。協会が公益社団法人となった後も特別顧問に就任頂きました。農業者数が減少し、労働力の高齢化が問題視されている中、人材育成における海外農業研修の重要性に共感し、国の支援が得られるようご尽力頂きました。

一方で、グルメな一面を持ち、世界中の食文化について、面白おかしくJAECスタッフにお話しして下さいました。本会の現地調査事業でフィリピンの訪問に同行頂いた際、かねてからの念願がかなってアヒルの卵料理、バロットを初めて食べたとき感激したエピソードと、それ以外のミール（食事）に対するややもすると辛辣な諧謔が、面白おかしく思い出されます。人当たりの良いお人柄が偲ばれます。

GATT ウルグアイラウンドで日本代表のメインプレーヤーとして様々なご経験をされたこともあり、平成22年度に宮城県で開催された北海道・東北ブロック営農研究会では、【農業関連 WTO・FTA 交渉について】という演目でご講演頂いています。農業貿易と国際交渉に造詣が深いからこそお話しいただける貴重な機会となりました。

国際農業人材育成に対する塩飽二郎さんの功績を称えとともに、ご冥福を心よりお祈り申し上げます。

## ●塩飽二郎氏来歴

東京都出身

昭和7年10月19日~令和2年8月30日

- ・昭和34年3月 東京大学法学部卒業
- 4月 農林省入省
- ・昭和50年9月 農林経済局国際部貿易関税課長
- ・昭和51年8月 水産庁漁政部水産流通課長
- ・昭和53年1月 群馬県農政部長
- ・昭和56年1月 構造改善局農政部構造改善事業課長
- ・昭和57年8月 構造改善局農政部農政課長
- ・昭和58年7月 構造改善局農政部総務課長
- ・昭和60年1月 経済局国際部長
- ・昭和63年4月 経済局長
- ・平成2年3月 農林水産審議官
- ・平成6年4月 退職
- ・平成9年6月 社団法人国際農業者交流協会理事長
- ・平成24年4月 公益社団法人国際農業者交流協会顧問



## How's it going?



JAEC が加盟している海外農業研修事業を運営する団体の連盟 Grow Abroad World Alliance より、コロナ禍での各国の様子が届いたので一部ご紹介します（2020年12月7日のアップデート）。どこの組織も大打撃を受けていますが、工夫し、この困難に立ち向かっています。

### ◇デンマーク (Travel To Farm)

It will probably never be 'as it were' but then at least to a 'new normal'. Luckily we still have trainees coming in on our program – not as many as usual though. We are lucky that the Danish Government recognizes work in agriculture and horticulture as a worthy purpose, meaning that everyone can enter Denmark as long as they have a valid contract of employment for a job in the green sector, a work permit if that is required and a negative Covid-test. Immigration is processing permits as usual – with a minor delay though (which is kind of normal too). We continuously have available placements, especially with dairy cattle and in pig production. Our outbound is very quiet atm but we do experience a great interest in travelling abroad amongst the young people, which is very comforting for the future.

### ◇スイス (Agrimpuls)

The Agrimpuls-Team is doing fine however the Corona pandemic affected our internship business quite hard. We were able to survive the first year of the crisis thanks to our diversified business fields: trainee placements and staff recruitment, dealing with issues relating to labour legislation and regulations concerning employment of foreigners (there we have done a lot of work for the Swiss Farmers Union). Then we had a boon in sales of packaging material for direct marketing (e.g. shops on the farms). Thanks to flexible employees and good sales in the non-internship business, we were able to survive this year. Now we hope that the situation will improve for next year so we can increase numbers in the Inbound and Outbound programs again. Our office was always open and we are working in turns at home and in the office. We can send and receive trainees. For the Inbound, we expect to obtain a lot of applications from hosts who want to employ a trainee for next spring or summer. For the Outbound, we have just a few candidates and it seems that young people are reluctant to apply because of the uncertain future.

### ◇オランダ (SUSP)

We mainly work from home and only go to the office when we have a meeting there or if we need to print. Our inbound program is open for EU students for any time and for non-EU students for a stay of more than 3 months. Part of the Covid-19 regulation is that non EU citizens are not allowed to travel to the Netherlands for a stay up to 3 months. Exceptions are made by the government for trainees from Japan, Thailand, Australia, New-Zealand, Rwanda, Singapore, South-Korea and Uruguay. These countries are considered as 'safe' and students are allowed to travel to the Netherlands for a period of 90 days. Our obliged Dutch national health insurance also covers the medical costs for Covid-19 if a trainee is contaminated during the training. Repatriation is also included. The past months we received a nice couple of students and also the hosts are able to receive trainees in a safe way. Our outbound program is limited at the moment.

本会がメインで海外農業研修事業に取り組んでいる国としては、ドイツのアップデートがありませんが、日々の連絡の中で聞くところでは、感染拡大が広がっていることから公共施設の閉鎖や活動自粛が継続しているということです。また、アメリカでは、感染の急拡大を受けて、大学や学校などのリモート授業が継続されていることや、大統領選挙の結果を受けてどのようになっているか注目されている様子が報告されました。

# 賛助会員・寄付金 賛助会費・寄付金へのお問い合わせはこちら▷TEL.03-5703-0251

賛助会員は本会の事業に賛同頂いた方にご入会頂き、年会費によって本会を支えて頂くものです。一方、寄付金は、寄付者のご都合に合わせて随時ご支援頂くもので、公益目的事業の運営に用いることと定められています。

賛助会員及び寄付者には、税額控除団体の証明書と共に領収証を翌年2月中旬までに送付いたしますので、確定申告にて税額控除を受けることができます。

令和2年6月11日以降(NF248にて紹介後)に御寄付頂いたのは次の方々です。(令和2年11月30日現在)

北海道/新藤 修 田村 登志文 小柴 雄二 記虎 孝一 奥村 稔 青森県/清野 耕司 藤井 英雄 松田 秀次 渡辺 光彦 気田 勉 岩手県/村山 敬一 村山 真砂子 白川 周一 伊藤 善光 安倍 弘人 宮城県/長井 勝 千葉 明美 川村 雄治 佐々木 三郎 三浦 孝一 秋田県/深澤 誠 奥山 雄公 佐々木 俊則 深谷 和義 宮野 武義 山形県/近藤 将来 茨城県/大原 篤 田崎 秀明 小嶋 幸弘 平田 里美 小野口 勇 吉川 浩人 栃木県/伊藤 直樹 群馬県/下田 憲六 大山 岳志 小淵 敏夫 木村 哲也 大谷 康志 藤 弘樹 埼玉県/柴崎 久男 齊藤 洋一 石井 豊史 東 和夫 荻野 好保 千葉県/園部 成秋 藤井 佐紀子 成山 敬治 東京都/本間 惇 丸山 隆昭 伊藤 一男 一箭 拓朗 大石 喜久男 大森 齋 三国 貢 藤森 英明 前原 四郎 豊田 正則 神奈川県/馬場 学郎 吉田 勝一 前田 義雄 伊藤 洋文 新潟県/仁多見 繁隆 赤川 毅 高野 年正 古屋 誠 近藤 和義 松原 守 山梨県/野沢 昇 長野県/小松 秀幸 若林 勇策 高見澤 宣男 岩田 康宏 金井 敬 三澤 加代子 帯刀 佳郎 吉川 達郎 静岡県/鈴木 好之 近藤 剛 鈴木 駿也 鎌野 秀斗 有限会社箱根 Swine 富山県/高安 重範 金田 洋示 石川県/福田 進 南出 清司 西原 光臣 北野 儀一 福井県/山田 豊 岐阜県/石神 五雄 石田 啓介 愛知県/永井 祥一 佐久間 和彦 杉浦 知広 小島 正雄 牧野 晃也 足立 健一 伊藤 孝子 早川 久登 三重県/古村 精康 赤塚 充良 水野 三隆 株式会社浅井農園 木田 久主一 滋賀県/平井 貞夫 京都府/中野 宏 霜尾 共造 近藤 康人 近藤 瑞穂 大阪府/西野 安藏 柳本 庄司 兵庫県/西浦 道雄 黒江 謙吾 谷 義久 奈良県/井上 源一 吉川 信也 和歌山県/泉 廣明 島根県/安達 順 石原 順治 福岡一広 岡山県/妹尾 始 久宗 力 春名 義則 広島県/栗田 賢 農事組合法人萩原ハイランドファーム 山田 聖三 大本 優 森田 幸秀 岡田 栄一 瀧下 勝之 安井 健 山口県/吉本 昌弘 市原 浩一 村上 成人 谷野 徹 木下 辰己 徳島県/楠 正人 香川県/前川 正明 愛媛県/三好 雅代 広沢 初志 相原 雄一 増本 卓夫 高知県/小野寺 弥 岡 雅司 細木 博幸 福岡県/田中 清喜 佐賀県/蒲原 喜己 福岡 篤 長崎県/松永 茂治 熊本県/中川 利美 佐々木 義次 赤星 智雄 坂本 壮一朗 後藤 哲英 毛利 和友 五嶋 義行 小畑 良一 村上 隆司 吉本 善勝 小路 洋一 上田 憲一 中山 信春 東 浩昭 杉本 和浩 増田 和典 谷田 恭一 荒木 康磨 出田 正明 橋 昌史 椎葉 和徳 竹田 和雄 井場 昭 大分県/深江 芳博 宮崎県/蜷川 政美 鹿児島県/板元 岩雄 迫口 宗治 大窪 森雄 飯野 幸博 國師 正一 後藤 美利 岸 広光 沖縄県/上江洲 進 仲本 英宏 与座 邦男 名嘉 重則 平良 小百合 大城 真紀子 宮城 孝次 海外/大城 辰雄 (順不同、敬称略)

また同じく、今回新たに賛助会員へ入会されたの方々です。

北海道/永井 守 青森県/田嶋 弘一 岩手県/佐藤 章昭 紺野 啓 佐々木 嘉春 福島県/武田 好正 埼玉県/石井 豊史 羽鳥 雄一 細田 保浩 東京都/岩田 弦 神奈川県/伊藤 洋文 早藤 義則 吉田 勝一 長野県/高見澤 宣男 富永 和典 横森 利明 愛知県/久野 吉吉 沖縄県/宮城 孝次 (順不同、敬称略)

## 協会の行事

### ブロック別国際化対応営農研究会 (国際化対応営農研究事業)

#### <北海道・東北ブロック>

期 日: ※コロナ禍の影響により、来年度に延期  
 ※組織会長及び事業担当者会議は、令和3年1月29日に ZOOM にて開催予定  
 事務局: 岩手県国際農友会 (一般社団法人岩手県農業会議内 TEL: 019-626-8545)

#### <関東甲信静越ブロック>

開催地: 東京都立川市「JA 東京第1ビル2階会議室」より ONLINE 配信 (無観客にて開催)  
 期 日: 令和3年2月12日(金) ※翌13日(土)の組織会長及び事業担当者会議は ZOOM にて開催  
 事務局: 東京国際農業者協会 (東京 FIA) (JAEC 内 TEL: 03-5703-0253)

#### <東海・近畿・北陸3県ブロック>

開催地: 奈良県  
 期 日: ※コロナ禍の影響により、来年度に延期  
 ※組織会長及び事業担当者会議は、令和3年2月5日(金)に ZOOM にて開催予定  
 事務局: 奈良県国際農業者交流協会 (奈良県農業水産振興課内 TEL: 0742-27-7442)

#### <中国・四国ブロック>

開催地: 鳥取県  
 期 日: ※コロナ禍の影響により、来年度に延期  
 ※組織会長及び事業担当者会議は、令和2年12月5日(土)にホテルメルパルク広島にて開催  
 事務局: 鳥取県国際農業者交流協会 (会長: 川本正一郎様方)

#### <九州ブロック>

開催地: 宮崎県宮崎市「ホテルニューウェルシティ宮崎」  
 期 日: 令和2年11月10日(火) ※午前中に組織会長及び各県事業担当者会議、午後、営農研究会  
 事務局: 宮崎県国際農友会 (宮崎県農業経営支援課内 TEL: 0985-26-7131)

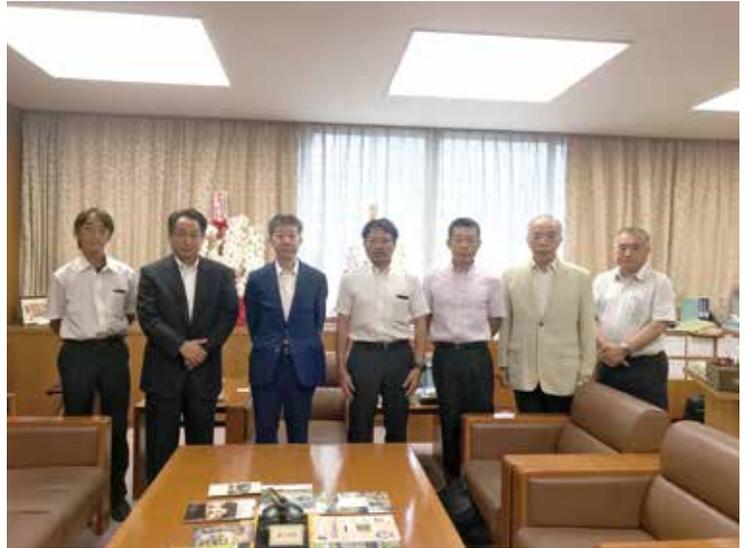
## 編集後記

コロナ禍であっても、空は青く、夜空には星が輝きます。2020年の夜空には、ISSで活躍する野口聡一さんが上空に来るのを眺め、400年振りの土星と木星の大接近がありました。人間の営みはなんと小さなことか、そして、それより小さなウイルスに翻弄される日常にフラクタル構造を見ている気がします。

## Vol.23 contents



ご挨拶…………… 1  
 各ブロックからの報告 …… 2～4  
 天地人…………… 4  
 #海外農業研修川柳始めました… 5  
 活動報告…………… 6・7  
 会員のひろば…………… 8



農林水産省の枝元事務次官に面会 詳しくは7ページ

### 謹賀新年

国際農友会 会長

星智宏 (宮城 / S56 / 米2)



昨年からのコロナという流行り病が流行していき、当初はインフルエンザ程度と思っており、これほどの威力を発揮するとは思いませんでした。まして日本経済はおろか人々の日常生活までこれほど変えてしまうとは驚きの一言です。

私達の日々の営農にも多大なる影響を及ぼしており、生産物の販売供給にも過剰生産時と同様の結末となり、農家経済に与えた影響は大であると思えます。未だに感染者は衰えず、中央から地方へと移行しているように思えます。

外出自粛や何やらと会合等も自粛モードで、我々、国際農友会の会議もリモート会議になり、慣れない会議にタブレット操作で参加するまでが大変でした。そんな中でも理事の方々に参加して頂き、沢山の議論を交わした事はコロナ禍のなか励みになりました。

議連活動もコロナの影響で停滞気味でしたが、敏腕秘書の助言により一気に事が進み、予想以上の効果が期待出来ました。以前は農林水産省が出してる、農業人材強化総合支援事業の中の農業次世代人材投資事業のなかの文言を変える位でしたが、今回は新たにシステムを構築して頂き、予算措置もとられさちつとした形になりました。この予算措置の吉報が坂元常務から入った時は流石に個人的に祝杯をあげましたね(笑)。まさかこの時期はこの展開？毎回振り出しに戻るの繰り返しで結果が見えず、試行錯誤の連続でしたので、農水省から直接内容を聴くまでは正直半信半疑な部分がありました。12月22日に参議院議員会館において議連総会を開催し、コロナ禍の総会でしたが沢山の御意見を頂戴し、無事終了しました。次年度から施行される事により海外研修参加者に大きな支援となる事は間違いありません。これも一重に国際農友会、各県会長を始め地域において御協力頂いた賜物と思えます。交流協会の坂元常務には通常の業務外で国際農友会の議連活動を共にし、お世話になりました。また、近隣のOBの方々にはご助言ご支援を頂き沢山の活動の励みとなりました。

気づけば既に5年の月日が流れていた事に驚きを隠せません。我々の活動はこれで終わりでは無く、新事業を活用して日本中から新たな人材発掘を行い新たな後輩達を海外に送り出したいと思えます。交流協会、関係機関をはじめ沢山の皆さまにご支援頂いた事に心より感謝申し上げます。

### 新しい生活様式

国際農友会 副会長

藤森英明 (東京 / H2 / 米2)



世界的に新型コロナウイルスの感染拡大が収まりません。私たちの生活も一変しました。国際農業者交流協会、国際農友

会の事業についても多大なる影響を与えています。今年度の派遣事業、受入事業に大きな影響を与え、会員の皆様に支援をお願いする事態にまでなりました。総会についても書面評決、役員会等の会議は、オンライン会議になるなど、今まで当たり前になっていたことが、出来なくなってしまうました。欧米各国の感染者数、死者数に比べ、我が国それは桁が違います。しかし、その地域に研修生を派遣、受入している事業を行なっている我々は、日本のみならず、世界的に一日も早く収束に向かつてもらいたいと願うばかりです。

国際農友会として農業人材育成議連を発足させ、政府への要望を始めてから5年目になります。今までコツコツとロビ活動を行ってきましたことは、会員の皆様に都度ご報告させていただいており、そんな中、ようやく一筋の光が見えてきました。このようなコロナ禍ですが、長年続いてきた研修生派遣事業に一人でも多くの将来農業を志す若者にチャレンジしてもらいたいと思えます。

今回からニューファーマーズも今までの紙媒体の郵送から、メール配信となります。様々なご意見をいただいておりますが、ご理解をいただきたいと思えます。この原稿を書いている今、また大きな波が来ています。新型コロナウイルスが収束に向かい、会員の皆様にとって、実り多き年になりますようにご祈念申し上げます。

# 岩手県国際農友会は研修会を実施しています

岩手県国際農友会 理事 平野 保 (S43/ ニュージーランド)



女性社長、発想が斬新です



酪農会員も頑張っています

会の事業（活動）方針に「会員相互の研鑽と」と掲げている通り実行しようとして、今年度は新型コロナ禍のため中止しましたが、2018年、2019年と研修会を実施できました。両年度とも共通内容は①先進的或いは特異な経営を積極的に展開している経営と、②会員農場の訪問研修としました。

2018年度は秋田県に隣接した西和賀地区で実施。山に囲まれた地域ですが、①は、「やまに農産（株）」。

稲作作業受託で地域農業を支えながら、女性社長らはブランドのワラビと目新しいカシスという作目を軸に、加工など高次化と全国に通じる販売の工夫や交流人口の拡大につなげていました。②は、酪農の「菅原（藤田）農場」は、町の山地開発事業で開かれた牧場で会員の初代が40年ほど前から経営。現在は娘の2代目（藤田会員）も参加し、開けた豊かな丘で大地に立脚した命を繋ぐ息の長い活動をしています。2代目、3代目（？）の娘達は、西和賀のハイジカ。

2019年度は南の宮城県に隣接した一関市東地区で実施。①は、15種類ほどの葉物野菜を生産する「有）かさい農産」。中山間地の恵まれた環境の下で生産物はGAP認証を受け、取引先も優良安定。工夫した雇用で高齢者、障害者、子育てママ、さらに新規就農者など受け入れ、地域貢献は大でした。②としては岩淵さんが酪農経営する「有）あぐりずむヤスパ」。良質牛乳生産のため基本となる牛の健康管理を大切に、また仲間作りと相互の研鑽で地域の牛乳評価を高める活動にも尽力されて、基本に着実という感想でした。

今後とも継続していきたい研修活動です。



山里で挑戦するレストランでコースランチも研修

# アグリフォーラム 2021

東京国際農業者協会 副会長 宮崎 晃 (S54/ 米2)

東京でアグリフォーラム（関東甲信静越ブロック国際化対応営農研究会）を開催するのは、今回で3回目となります。今このコロナ禍の影響で、実際営農研究会が行なえるか不透明な状況が続いていますが、そのような中、当「東京FIA」は数回にわたり役員会を開き、令和3年2月12日の開催に向けて準備を進めています。

開催要領についてはホームページをご覧ください。



今回のテーマとして「令和の時代の新しい農業」地域に合った担い手を」とを挙げています。特に若い担い手を中心に発信して行きたいと企画しました。営農研究会（アグリフォーラム2021）の会場に見城美枝子氏ら3名の講師をお招きし、また、現在欧州で研修中の研修生ともオンラインで結んでインタビューを行う予定となっています。講演や研修生とのインタビューの様子は、



前回のアグリフォーラム 2012 の様子

You Tube Live で配信する計画でいます。オンライン配信につきましては、愛媛県の清家正亀OBに多大なるご協力をいただく予定です。感謝します。

このアグリフォーラム2021を通じて、若い世代の人たちの将来にとって何か参考になればと思います。今回の「アグリフォーラム2021」の会場ですが、東京都立川市にある「JA東京中央会」のご協力により当ビルの大会議室で行われますが、やはり新型コロナウイルスの余波により入場制限されるため、本来であれば多くのOB・OGの方々にご参加していただきたいのですが、残念でなりません。各県の出席者の方々には、ご迷惑をおかけします。また、参加できない方は、オンライン配信を是非ご視聴ください。

現在、新型コロナウイルスによる第3波の渦中にはありますが、是非この「アグリフォーラム2021」が成功裏に終わりますよう、ご協力をお願いします。

# ブロック営農研究会開催に向けて

奈良県国際農業者交流協会 会長 井上 源一 (S45 / 米 1)

組織にとって事業開催は、リハビリになるというのが、私の持論です。毎年、ブロック長会議で次々年度開催県を選定する際に、ウチの組織は力が弱いので、後回しにして欲しいという県があります。その時に私が発言する言葉が、力が無いからやらねばダメなんです、と。身体の事でも同様で、弱った機能を元に戻すために、お金と時間を掛けて少しは痛い思いもして、リハビリするのです。弱いからやらねばいけないのですとね。

さて、我が県の場合も、気が付けば、役員の高齢化が進んでいます。でも、初代会長萩原善之助氏（S27 / 米 1）の残してくれたシステムが今その機能を發揮していると思っています。県組織は国の組織に倣って県内の農業関係団体を網羅する様に入会して頂き、市町村の大部分も会員に名を連ねてくださっています。そんな大所帯ですから、具体的な行事の立案・運営は、常設の運営委員会にまかせるといっていい形をとっています。今回のブロック営農研究会に関しても、早速実行委員会を立ち上げ、すでに数回の会合ももっています。6地区から壮年層の正副2名と県農協、農業会議からそれぞれ1名、合計10数名が作業部会に入って頑張ってくれています。コロナ禍の下での営農研究会が成功するかどうか不明ですが、若い人たちの活躍する姿を見ながら、派遣事業の永続を願うと同時に、我が奈良県の組織に大いなるリハビリ効果が現れている事を実感しています。

注..その後のコロナ禍の拡大により、営農研究会開催は来年度へ延期となりました。奈良県組織の皆様の方で、来年度の盛会が期待されます。



家族交流会



運営委員会



啓発キャラバン

# 地域に根ざした活動を行っています

鳥取県国際農業者交流協会 会長 川本 正一郎 (S52/ デンマーク)

鳥取県の会員数は、正会員と特別会員とで46人と少ない会員にとどまっています。近年は県在住者の研修生派遣も無く、会員の減少と高齢化が進んでいるのが現状です。

例年の事業は、会員相互の農場視察と研修会を実施していますが、参加者も数名と残念です。派遣事業啓発キャラバンは、鳥取大学と県立農業大学校で事業説明及びOBによる体験発表を実施しています。しかしながら他県からの推薦派遣は有りましたが、鳥取県在住者の後継者などの派遣は数年無い状況です。

鳥取県内の会員は、果樹・畜産・花卉農家で地域の担い手や農業団体の役員そして各農家の中心的存在として活躍しています。果樹農家では、鳥取の代表的な二十世紀梨の栽培から新品種の「新甘泉（しんかんせん）」「なつひめ」の栽培を導入しています。畜産農家は、国の畜産クラスター事業などに参画して酪農では規模拡大、1000〜2000頭規模の経営体となっています。和牛農家は、鳥取県有数の優秀な雄種牛を利用して受精卵移植を積極的に取り入れて、優れた和牛生産をされています。花卉農家は、安定的に地域での生産販売と全国の市場にも注目される品種改良も実施されています。また近年の異常気象などにより、県内でも自然災害でキノコ栽培をしていた農場も壊滅的な被害が有りました。

今後も、新型コロナウイルスの感染拡大への影



9月の局地的な豪雨により甚大な被害を受けた鳥取市佐治町のキノコ栽培施設「雪んこ」（社長：福安修OB、S56/米2）



被災施設を視察する石破茂衆議院議員（農業人材育成協議連顧問）

響も大きく農畜産物の下落など不透明なコロナ禍において、農業も食生活の変化と、少子高齢化と人口減少期となるであろうと思われる。地域の会員が知恵を出し合い、農業の重要性を訴えかけていく必要があると考えます。



豪雨被災農地



総会後の交流会

泣きつ面に蜂」とはこの事か…。近年だけで三年連続、四度にわたって襲った短時間記録的大雨は、今年またもや甚大な被害を九州にもたらし、尊い人命や財産を押し流しました。(令和二年七月豪雨)

かくいう私もその豪雨の被害者です。毎年毎年、氾濫した水の底に沈む農作物を虚しさとも悔しさともよくわからない、ごっちゃな気持ちで見つめなければなりません。コロナ禍により農産物の販売も低迷、経済は弱り、そんな中で懸命に生活を継続しようとしていた人々になんの落ち度があったのでしょうか…。

地元農家の代表として沢山のメディアの取材を受けることにもなりました。当時の内閣府特命(防災)担当大臣をはじめ地元選出議員の皆さんも視察に来られ、被害の状況、今後どうしていくか、どんな気持ちかなど、いろんな質問に答えてきました。一番伝えなかったのは、災害を復旧するのも勿論大切で有難いことなのですが、災害に対してしっかりと

原因を究明し、解決していくのがより大切だと思うのです。数年、数十年に一度の豪雨がこうも毎年来てもらってはたまりません。「前例」があるのだから、もはや「想定外」ではないのです。対処療法ではなく、被災者がもう一度前を向けるような未来に向けた根本的治療をお願いしたい。こういった思いも、農業人材育成協議などを通じて訴え続けられればと思っています。

協会としての活動も難しい選択を強いられることになりました。コロナ禍により各行事は中止または縮小せざるを得なかったし、七月に予定していた総会は豪雨被害も加わり延期。組織活動がなかなか出来ないままでしたが、十一月四日、やっと総会を開催することになりました。その二日後には、福岡県農業大学校でのキャラバン活動を控えております。

ただ、やはり気がかりなのはコロナ禍による参加者の減少や、渡航自粛が続くなか、どれだけか学生に海外派遣へ前向きな気持ちを持っていただけるか等、今後の活動に暗い影を落とすものばかり。そして会長として残された期間はあと一年足らず。

与えられた環境の中で、全国組織の一員としてどこまでやれるのか。周囲の皆さんの知恵を借りながら、精一杯あがいてみたいと思っています。

## てんちん 天地人

### くにづくりはひとづくり

国際農友会理事 椎橋 美孝

(埼玉/S63/米2)

全国各地にお住いのOB・OGの方々それぞれの地域において活躍のことと思いますが、昨年は誰もが予想することができない一年となりました。業種によつては仕事がなくなつたり逆に忙しくなつたりと先の読めない毎日でした。そんな中需要が急に高まり入手困難になったマスクなどあらゆるものが国内生産ではなく海外からの輸入に頼っていたという事実です。なんとなく承知していたことではありますが、改めて海外への依存度が高いということが分かった一年でもありました。

これは農業の分野でも決して例外ではないことと思います。農産物の海外輸出に注目が集まっている昨今ですが、ひとたび有事になつたらみなどこの国も自国を優先して輸出どころではなくなつてしまうような気がします。今我が国

日本は耕作放棄地が増え、農業の後継者がなかなか増えないという現実があります。畑に造成することとはさほど難しいことではないと思いますが、いざそこで農業を始めようとする人材を確保することは簡単なことではありません。

今回のことで今一度自国の現状をみつめ直し取り組まなくてはならないことを考える良い機会になったことと思います。高い意識を持った海外農業研修経験者である私たちが地域の中心になって、農業分野での人材確保に努めていきたいものです。人づくりは一番大切なことで一番難しいことです。10年後、50年後を見据えて、みんな頑張りましょう。



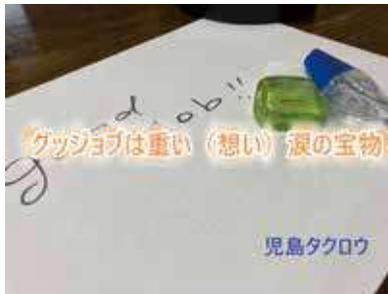
# #海外農業研修川柳 始めました

海外農業研修中の思い出やエピソードを川柳で募集しています。8月から12月までに届いた川柳の中から、JAEC スタッフに人気投票を取り、上位の5句をご紹介します。他にも多数の秀句が集まっています。不定期に国際農友会 Facebook でフォト川柳としてご紹介していますので、ぜひ見に来てください。そして、川柳の投稿もお待ちしています。



寝坊した朝に限って  
ボスがいる  
潜水亭珍没

普段は失敗ないように目覚まし時計かけておきし、ボスが早朝から顔を出すことなんてないのにな…！て、嘆きが目に浮かぶ。



グッジョブは重い(想い)  
涙の宝物  
児島タクロウ

ボスが満足げにかけてくれた言葉が、今も胸の中にこだましています。



ジーンズに辞書入れ  
今日もトラクター  
兎っ亀一

英語分からないと困るからね。トラクターに乗るときには誰かに会うわけではないけど



アメリカに  
行ったはずだが  
メキシコだ  
Seigo Yokoyama

俺のアメリカでできた知人のほとんどはメキシカンだった(笑)



農場も公衆電話も  
5 km先  
潜水亭珍没

進むにしても、戻るにしても、どちらも遠い！

## ●海外農業川柳応募の仕方

創作いただいた川柳は、海外農業研修川柳の係：皆戸 ([kaito@jaec.org](mailto:kaito@jaec.org)) までお送りください。その際に、詠み人の雅号（本名で良ければそのままでも結構です）、フォト川柳で使ってほしい写真があれば、合わせてお知らせください。写真は著作権フリー且つ加工しても問題ないことをご確認ください。投稿いただいた川柳は国際農友会 Facebook、FM 愛媛の番組【いただき E-hime】で紹介されることがありますので予めご了承ください。

農業人材育成協議連

令和2年度第一回総会開催

去る12月22日、「国際競争力ある農業人材の育成に向けた議員連盟（略称：農業人材育成協議連）」の第一回総会が参議院議員会館の1階「講堂」で開催されました。まず、農林水産省の松尾審議官から「国際的な農業人材の育成に関する取組について」と題して、これまでの取組及び具体的な取組事例、そして農業教育の令和3年度の取組についてのプレゼンテーションがありました。

あること、国際農友会としてもしっかりと取り組みたいとの挨拶を行いました。国際農友会では、議連の会員の方々と歩調を合わせ、引き続き研修参加者への支援要請活動を進めて行きますので、会員の皆様にも更なるご支援・ご協力を頂きますようお願い致します。

国際農友会を代表して星会長から、今まで多くの方々にサポートしていただいた成果が出つつあること、これが結果ではなく始まりであるので、国際農友会の各県組織と連携して1人でも多くの青年に海外農業研修に参加してもらい着実に成果を出す事が大事で



出席された議員、農水省の皆さんと

国際競争力ある農業人材の育成に向けた議員連盟 会員名簿

令和2年12月22日現在 会員数126名（順不同、敬称略）

都道府県	衆・参	氏名	役職名	都道府県	衆・参	氏名	役職名	都道府県	衆・参	氏名	役職名
北海道	参	長谷川 岳		岐阜	参	渡辺 猛之	幹事	佐賀	参	山下 雄平	幹事
	衆	武部 新	幹事		衆	武藤 容治	幹事		参	古賀 友一郎	幹事
青森	衆	和田 義明		愛知	衆	金子 俊平		長崎	衆	北村 誠吾	幹事
	衆	木村 次郎			衆	今枝 宗一郎	幹事		衆	加藤 寛治	幹事
宮城	衆	西村 明宏	幹事長	三重	衆	根本 幸典	幹事	熊本	参	馬場 成志	幹事
	衆	伊藤 信太郎			衆	青山 周平			衆	野田 毅	顧問
秋田	参	石井 浩郎		滋賀	参	吉川 ゆうみ		大分	衆	坂本 哲志	
	衆	御法川 信英	副幹事長		参	こやり 隆史			衆	金子 恭之	
山形	衆	富樫 博之	幹事	京都	衆	大岡 敏孝		宮崎	参	穴見 陽一	幹事
	衆	遠藤 利明			衆	武村 展英			衆	松下 新平	
福島	衆	根本 匠	副会長	大阪	衆	小寺 裕雄		鹿児島	衆	武井 俊輔	
	参	岡田 広弘	幹事		衆	田中 英之			衆	江藤 拓	副会長
茨城	衆	富梨 康弘		兵庫	衆	中山 泰秀		比叵	衆	森山 裕	副幹事長
	衆	国光 あやの			衆	左藤 章			衆	小里 泰弘	副幹事長
栃木	参	高橋 克法	幹事	奈良	衆	谷 公一	副会長	鹿児島	衆	金子 万寿夫	
	衆	梁 和生	幹事		衆	山田 賢司			衆	山田 俊男	副会長
群馬	衆	井野 俊郎		和歌山	衆	渡海 紀三朗		鳥取	参	北村 経夫	幹事
	衆	小淵 優子			衆	藤井 比早之			参	宮島 喜文	
埼玉	衆	新藤 義孝	副会長	岡山	参	堀井 巖	幹事	高知	参	進藤 金日子	
	衆	三ツ林 裕一			参	佐藤 啓			参	藤木 眞也	
千葉	参	猪口 邦子		広島	衆	田野瀬 太道	事務局長	愛媛	参	青山 繁晴	
	参	豊田 俊郎			衆	石田 真敏	副会長		参	宮崎 雅夫	
東京	衆	齋藤 健	幹事	山口	衆	石 破 茂	顧問	香川	衆	山本 有二	顧問
	衆	園浦 健太郎			参	赤澤 亮正	副幹事長		衆	宮路 拓馬	幹事
神奈川	衆	小林 鷹之		山梨	参	石井 正弘	顧問	徳島	衆	斎藤 洋明	幹事
	参	中川 雅治	幹事		衆	逢沢 一郎	顧問		衆	福山 守	幹事
新潟	衆	松本 洋平	幹事	福井	衆	あべ 俊子	副幹事長	高知	衆	谷川 とむ	幹事
	衆	牧島 かれん	幹事		参	宮沢 洋一			衆	岩田 和親	幹事
山梨	衆	松本 純		福岡	衆	岸田 文雄		高知	衆	古川 康	幹事
	衆	高島 修一			衆	平口 洋			衆	八木 哲也	幹事
長野	衆	森屋 宏		福岡	参	林 芳正	会長	高知	衆	渡辺 孝一	
	衆	堀内 詔子	幹事		衆	高村 正大			衆	小島 敏文	
静岡	衆	宮下 一郎	副幹事長	福岡	参	三宅 伸吾		高知	衆	富岡 勉	
	衆	後藤 茂之			参	大野 敬太郎			衆	佐藤 ゆかり	
富山	衆	上川 陽子		福岡	参	山本 順三	副会長	高知	衆	藤原 剛士	
	衆	城内 実			衆	塩崎 恭久			衆	星野 剛士	
石川	衆	宮腰 光寛	副会長	福岡	参	高野 光二郎	幹事	高知	衆	亀岡 偉民	
	参	山田 修路	幹事		衆	松山 政司			衆	三谷 英弘	
福井	衆	佐々木 紀		福岡	衆	藤丸 敏		高知	衆	船橋 利実	
	参	滝波 宏文			衆	三原 朝彦			衆	神田 憲次	
福井	参	山崎 正昭		福岡	衆	鳩山 二郎		高知	衆	中曾根 康隆	
	参	山崎 正昭			衆	武田 良太					
					衆	古賀 篤					



開会の挨拶をされる林会長



星会長からお礼の挨拶

# 令和2年度理事会

左記理事会がZOOMにて開催され、活発な意見交換が行なわれました。



## 第2回理事会

(令和2年8月20日開催)

主な協議事項…今後の運営及びブロック別組織会長会議について、素敵な経営者たちⅡ(仮称)の作成について、(公社)国際農業者交流協会への寄付金の協力について、ロビー活動について

## 第3回理事会

(令和2年11月26日開催)

主な協議事項…令和元年度の活動経過報告、今後の運営及びブロック別組織会長会議について

## 農林水産省・枝元事務次官訪問

令和2年9月3日、星会長、藤森副会長、檜垣副会長、椎橋理事、本間顧問が農林水産省の枝元事務次官に面会し、農業担い手育成確保に有用な海外農業研修への支援について要請活動を行いました。



## 今後の予定

### 令和3年度通常総会

日時…令和3年6月上旬(予定)

場所…主婦会館プラザF(予定)

〒102-10085 東京都千代田区六番町15

TEL: 03(3265)8111

### 〈議案〉

- ・令和2年度活動報告及び収支決算案について
- ・令和3年度活動計画及び収支予算案について
- ・役員改選・その他

# 平成30年度アメリカコース研修生帰国

♪ お帰りなさい! 今日から君たちも同窓会の仲間です ♪

H30 アメリカコース研修生41名が、それぞれの研修コースを無事に終了し、10月中旬までに帰国しました。本来であれば、帰国歓迎会を開催してお祝いするところですが、コロナ禍の影響でそれは叶いませんでした。代わりに、“KOKUSAI NOYUKAI”の刻印が入った名刺入れを郵送し、新たな進路を歩み始める彼らの前途を祝しました。

帰国したてのフレッシュなOB・OGがこれから各県に戻り、皆様の組織活動の活力となってくれることを期待しています。

※帰郷後の希望所属組織について各組織にご連絡しますので、彼らへの活動参加呼びかけをよろしくお願いします。



**Hakusan Holdings** ハクサンホールディングス株式会社

海外研修を受けた皆さん、  
私たちと一緒に働いてみませんか。

当社は園芸分野で国際的なビジネスを展開する種苗会社です。詳細は下記まで  
〒470-0104 愛知県日進市岩藤町三番割321-1 TEL.0561-75-5777(代) FAX.0561-75-5776  
E-mail: info@hakusan1.co.jp https://hakusan1.co.jp/

**AIG損害保険株式会社**

**AIG**

東京法人営業統括部  
東京コーポレートキャリアエージェント営業部  
営業1課 担当: 室田

〒130-0013 東京都墨田区錦糸1-2-1 アルカセントラル 17F  
TEL : 03-5637-0721 FAX : 03-3622-2040



## 会員の動向 (敬称略、順不同)

### ご逝去

平成 27 年	藤倉 巖 (広島 /S35/ 米 3)	令和 2 年 4 月	伊牟田 幸徳 (熊本 /S38/ 米 3)
平成 28 年	石川 暁雄 (栃木 /S34/ 米 3)	令和 2 年 5 月	上薨 寅吉 (熊本 /S38/ 米 3)
平成 28 年 12 月	前島 賢治 (茨城 /S49/ 米 1)	令和 2 年 5 月	東山 光徳 (香川 /S37/ 米 3)
平成 29 年 2 月	下川 充巨 (徳島 /S35/ 米 3)	令和 2 年 5 月	平江 泰良 (熊本 /S38/ 米 3)
平成 30 年 1 月	土屋 安正 (岐阜 /S43/ 米 2)	令和 2 年 6 月	菊地 徹 (岩手 /S32/ 米 3)
平成 29 年 5 月	立山 正昭 (熊本 /S33/ 米 3)	令和 2 年 6 月	和気 邦嗣 (愛媛 /S46/ 米 1)
平成 30 年 11 月	西牟田 幸一 (鹿児島 /S49/ 米 2)	令和 2 年 7 月	青木 積 (熊本 /S38/ 米 3)
平成 31 年 1 月	高木 邦雄 (新潟 /S34/ 米 3)	令和 2 年 8 月	矢吹 馨 (福島 /S28/ デンマーク)
平成 31 年 3 月	森 康夫 (岡山 /S34/ 米 3)	令和 2 年 9 月	植木 義一 (東京 /S31/ 米 3)
平成 31 年 3 月	清水 康雄 (埼玉 /S40/ 米 2)	令和 2 年 11 月	八重尾 直忠 (神奈川 /S33/ 米 3)
令和元年 8 月	木本 信義 (大阪 /S34/ 米 3)	令和 2 年 12 月	松井 紀潔 (アメリカ /S36/ 米 1)
令和元年 9 月	中村 孝士 (埼玉 /S39/ 米 1)	年月不明	荒巻 光男 (大分 /S28/ 米 1)
令和元年 10 月	飯田 正人 (長野 /S43/ 米 1)	年月不明	中園 東宣 (鹿児島 /S38/ 米 3)
令和元年 11 月	佐藤 正則 (香川 /S29/ 米 1)	年月不明	赤木 紀男 (宮崎 /S38/ 米 3)
令和元年 12 月	林 吉宏 (和歌山 /S39/ 米 1)	年月不明	河野 勝己 (広島 /S31/ 米 3)
令和元年 12 月	粕川 成一 (群馬 /S27/ 米 1)	年月不明	橋本 和夫 (滋賀 /S32/ 米 3)
令和 2 年 2 月	奥田 康嘉 (北海道 /S38/ 米 3)	年月不明	境 洋昭 (熊本 /S35/ 米 3)
令和 2 年 3 月	甲斐 一紀 (熊本 /S35/ 米 3)	年月不明	前野 福雄 (兵庫 /S32/ 米 3)
令和 2 年 3 月	西田 貞雄 (熊本 /S35/ 米 3)	年月不明	瀬谷 吉弘 (和歌山 /S38/ 米 3)
令和 2 年 3 月	鈴木 整 (千葉 /S55/ 米 1)	年月不明	難波 教生 (岡山 /S35/ 米 3)
令和 2 年 4 月	白石 恵次 (福岡 /S46/ 米 2)	年月不明	柴田 治彦 (愛知 /S41/ 米 2)
令和 2 年 4 月	嶋 昌司 (和歌山 /S31/ 米 3)	年月不明	藤岡 正志 (香川 /S35/ 米 3)
令和 2 年 4 月	高野 勝重 (福島 /S32/ 米 3)	年月不明	池沢 由紀夫 (高知 /S45/ 米 1)



### アンディー松井さんご逝去 2020年12月11日逝去(享年85歳)

松井アンディ紀潔 OB (奈良県出身、米国カリフォルニア /S36/ 米 1) は米国研修から帰国後、夫人と共にカリフォルニア州に移住、ベイエリアにある園芸農場に勤務し、リースされた温室で自分たちの事業を始めました。1969 年、サリナス郊外の 40 エーカーの土地を購入して自分の農場を設立、最高品質の花の栽培者としての評判を獲得するまでになりました。松井 OB は長年にわたり、本会の農業研修生を受け入れ、後輩の育成に尽力してくださいました。ご冥福をお祈りします。

### 叙勲・受賞

平成 29 年 3 月	中小企業庁『はばたく中小企業・小規模事業者 300 社』に選定 株式会社浅井農園 (専務: 浅井 洋平、三重 /H20/ 米コンビ)
平成 30 年 9 月	日本農業経営学会 実践賞 株式会社浅井農園 (専務: 浅井 洋平、三重 /H20/ 米コンビ)
令和 2 年 3 月	農業イノベーション大賞 2020 大賞 株式会社浅井農園 (専務: 浅井 洋平、三重 /H20/ 米コンビ)
令和 2 年 10 月	第 42 回千葉県鶏卵品質改善共進会 農林水産大臣賞 有限会社 北川鶏園 (代表: 北川 貴基 (千葉 /H7/ 米 2))
令和 2 年 11 月	公益社団法人大日本農会 令和 2 年度農事功績者表彰事業 緑白綬有功章 橋詰 孝 (和歌山 /S50/ 米 2)
令和 2 年 11 月	全国洋らん品評会 農林水産省生産局長賞 山野井 喜仁 (茨城 /S63/ オランダ)

### 当選・就任

令和 2 年 9 月	愛媛県伊方町長 (2 選) 高門 清彦 OB (愛媛 /S55/ 米 2)
------------	--

### 結 婚

令和 2 年 8 月	後藤 孝美 (熊本 /H26/ アメリカ、新姓: 藤本)
------------	---------------------------------

編集  
後記

吉報があった時祝杯上げたんですが、一人で吞んでたのに  
(ほでなす) になってました〜 (笑)

